

Session 5

# 牧会の基本①挨拶（声かけ）

牧会的な意味での「挨拶」とは、広い意味での「声かけ」で、羊たちと関係を築いていくための基本です。羊は目は悪いけれど耳がよい動物なので、羊飼いの声を覚えてついていきます。ですから羊飼いは羊に声をかけ続け、その声を覚えさせます。羊は羊飼いの挨拶（声かけ）の中に含まれている愛情、喜び、誠実さなども敏感に受け取り、それを学習することで羊飼いに慣れ親しんでいきます。挨拶（声かけ）の極意は、羊に「自分は大事にされている、価値がある」という気持ちを与えてあげることです。

## 挨拶（声かけ）の例

### ①歓迎

「〇〇君おはよう」「〇〇さん、来てくれてありがとう」「〇〇、おかえり！」のように、名前を呼んで、喜びに満ちた声と表情で立ち振る舞いで歓迎しましょう。文化的に許容されるならボディランゲージとして握手やハグなども用いることがありますが、（とくに異性の場合）不快感を与えないように注意します。

### ②感謝（喜び）

「この前はLINE返事くれてありがとうね」「今日は暑いのにわざわざ足を運んでくれてありがとう」「一緒にこうして食事ができてすごく嬉しいです」など、感謝を表す機会を逃しません。感謝の表現はその人のことをいつも思っている、関心を持っている、一緒にいれることが嬉しい、という印象を与えます。

### ③誉れ

その人の誉れをたたえます。日本には誉れの文化があまり一般的ではないので、このような挨拶（声かけ）は慣れていないかもしれませんが、誉れは神の国の文化の一部として重要です。

### ④送別

礼拝やハウスミーティングが終わり、その人が帰るときの声かけです。「また来週！」や「行ってらっしゃい」なども使いますが、新来者の場合だったら「今日〇〇ちゃんが来てくれてとても嬉しかったよ」「〇〇君も祝福されたと思うけど、逆に僕らも〇〇君が来てくれたことで祝福されたよ」「今日、〇〇さんが神様を求めて教会まで来てくれたこと、神様はちゃんと見てるよ。必ず主が導いてくれるから大丈夫！」など。

## コツと注意

コミュニケーションは、

- ①あなたが思っていることを言語化（表現化）すること、
  - ②言語化した内容が相手に正しく伝わり理解されること、
  - ③相手がそれに応答すること、
- です。